

自民・参政・無所属クラブ
江東区議会議員



けんざき 美彦
通 信



東京都江東区第三十四支部 発行責任者：鋦先美彦

区政報告 Vol.17
2024年9月号



- ★街が元気～区民がつながり、活気あふれる安心の街づくり
- ★子どもが元気～次世代を担う子ども達の子育てを全力で支援する街づくり
- ★お年寄りが元気～いくつになっても皆が健康で幸せに暮らせる街づくり

令和5年度、任期中の江東区監査委員（区議会議員2名選出）が辞退したため、1/29付で新たに拝命を受け令和6年度5月末まで監査委員（4ヶ月間）を務めました。久しぶりに区施設や幼稚園・小学校など監査で伺う機会に恵まれ、現場のいろいろな課題を聞くことができました。「一般質問」等の質疑に生かしたいと考えています。能登半島や南海トラフでの大震災で行政がなしえなかった環境整備に課題もあり、区民重視の安全・安心な対応が整うよう勉強していきます。

オンライン時代ですが、以前と同様な文化的な行事やお祭りなど率先して活動し、失われてしまったつながりや人情を保ち、地域の活性に尽力していきます。「宇迦八幡宮」本祭りで御霊を授かった神輿を巡行させ事故もなく行事が遂行できたこと、「川南和太鼓クラブ」や町会宵宮の活動を通じて多くの参加者と喜びを分かち合えたことに感謝します♪



1/21 扇橋二丁目餅つき



3/31 お花見太鼓



8/10 扇橋三丁目 宵宮



8/11 宇迦八幡宮 本祭り



ホームページ <http://www.kenzaki-y.com/>



けんざき美彦（鋦先美彦）●Profile

昭和34年1月6日 江東区扇橋生まれ
 〈学歴〉江東区立川南小学校、千代田区立今川中学校、京華高等学校、玉川大学工学部
 〈職歴〉東京トヨペット(株)を経て、実家である三孝自動車(株)入社、代表取締役
 〈経歴〉川南小学校、深川第四中学校、京華中学高等学校のPTA会長を歴任し、元青少年委員、青少年対策小松橋地区副委員長、扇橋三丁目災害対策部長、深川消防団第2分団部長、深川八ヶ町防災協議会事務局長、保護司。和太鼓指導者など長年、地域・育成活動に従事。平成20年度（教育関係）、平成30年度（自治）区政功労者表彰。平成23年初当選、平成27年2期目当選、平成31年（令和元年）3期目、令和5年4期目当選し地域経験を生かし活動中。

自民・参政・無所属クラブ 江東区議会議員
けんざき美彦

事務所 〒135-0011 江東区扇橋2-21-3 TEL/FAX 03-5634-7855
 携帯 080-2152-1302 kenzaki.y.katuyaku2707@docomo.ne.jp
 E-mail:kenzaki.y.2707@gmail.com

令和6年度の役職は、区民環境委員会の委員長を拝命しました。そして、防災・まちづくり特別委員会の所属となりました。令和5年度1月末より区行政の監査委員を5月末まで務めました。

令和5年度 第1回定例会本会議 一般質問(抜粋) 令和6年2月22日

1 首都直下地震への備えについて

(1) 民間建築物耐震促進事業について

Q. 令和6年1月元日午後4時10分、石川県能登地方を震源とする大地震が発生し、多くの家屋が焼失しました。住民の65歳以上の割合(高齢化率)は50%以上で、耐震化工事が進んでいなかったことや、空き家も多く老朽化している家屋が少なくなかったと思います。民間建築物耐震促進事業の重要性の認識は。

A. 地震の被害から区民の生命や財産を守ることに繋がる重要な施策である。

(2) 避難所の改善と拡大について

Q. 避難生活の長期化で高齢者が増加することが心配～簡易ベッドの装備は進んでいるのか。低体温やエコノミークラス症候群、感染症など予防法について学べる機会は。

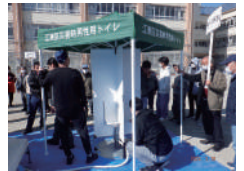
A. 避難所の生活環境の改善を図るため、令和6年度に段ボールベッド430台を新たに備蓄する考えです。防災訓練などで避難所生活での感染症対策について啓発を行う。

Q. 学校で備蓄されていた非常用のご飯や水など、想定以上の避難者が集り不足した。学校避難所に隣接している公園にある備蓄倉庫の拡大を考えては。

A. 備蓄方法を工夫し、必要な備蓄量を確保していく。国及び都と連携して、復旧に向けた早急な対応が必要であると認識している。

Q. 地盤沈下によって緊急輸送道路の確保が困難になっていることについて区の認識は。「電気式コーン買入試験」など区道で実施して、液状化判断の調査や防止策の改善について考えは。

A. 多大な費用と時間を要するなどの課題がある。民間企業の最先端土木技術や他自治体の先進事例等を参考に調査・研究していく。



2 生物多様性の保全について

(1) 緑地保全の区民との連携について

Q. ビオトープを利用して生物と触れ合う時間を教育・授業に取り組んでいるのか。生物多様性教育の命の大切さを伝える貴重な機会です。生物多様性教育の効果について見解は。

A. 小学校では、生活科の「身の回りの生物」、「季節と生物」、また、中学校では、理科の「生物世界」の学習等で行っている。環境問題の解決のために自分たちができることを考え、行動に移すといった効果が期待できるものと考えている。

3 地下鉄8号線沿線のまちづくりにていて

(1) 千石周辺まちづくりの進め方について

Q. 協議会の会員はどのような人たちが集まるのか。地域住民や各校PTA、中心となる宇迦八幡宮の行事情報や総代等の関係者の意見をどのように取り入れていくのか。区の見解は。

A. 深川八ヶ町の地域住民及び地元企業、さらに公募を含めた30名程度の会員を予定。多様な意見を取り入れ、地域一体となったまちづくりとなるよう検討していく。

(2) まちづくり協議会の継続性について

Q. 希望としては、この協議会で将来を担う地域コーディネーターが育ち、今後も継続性ある協議会となることを期待したい。地域活性化に向けた活動に繋げていくべきと考えますが、区の見解は。

A. 地域住民相互の親睦や交流が深まることで、自主的なコミュニティ活動につながるチャンスと捉えております。地域活性化の取り組みに繋がる自主的な活動として継続できるよう、その取り組み等について検討していく。



☆江東区議会ホームページで動画録画配信 <http://www.city.koto.lg.jp/ac/gikai/>

区民に開かれた議会を目指し、インターネット中継の実施と会議録の公開を行っています。



議員トピックス



●2/18「深川八ヶ町・合同避難所訓練」

深川八ヶ町防災協議会主催の合同避難所訓練(川南小・扇橋小同時開催)が昨年に続き決行できました。事務局長として両校の進行と備品準備をさせていただきましたが、新たな課題もあり引き続き防災意識の向上と協議会を強化していきます。



●5/26「深川消防団・ポンプ操法大会」

所属している第二分団は、全員が災害対応できるように訓練に取り組んでいます。若手で挑んだポンプ操法大会に見事に優勝しました～おめでとうございます。江東区代表として、都大会(10/26)の優勝をめざし練習に励んでいます。応援をお願いします。



●6/6「区政報告会」

令和6年度の所属委員会の内容、地域育成や防災対策の活動、そして今後の政策を報告させていただく機会を後援会の協力をいただき開催できました。玉川大学後輩の鈴木壮麻君に素敵な美声でミュージカルナンバーをご披露してもらい楽しいひと時でした。



●7/7「東京都知事・都議会議員補欠選挙」

補欠選挙は自民党総支部で一致団結して山崎一輝候補(前都議会議員)を応援して10日間の選挙を戦いましたが、残念ながら次点で当選ができませんでした。引き続き連携して安全・安心なまちづくりに努めていきます。選挙協力ありがとうございました。